

# Platform運用監視パック事前確認シート

Platform運用監視パックの導入にあたって、事前に確認頂きたい内容(対象製品やネットワーク環境の前提条件等)をご案内しています。ご購入前に必ずご一読頂き、お客様環境にてご利用可能かご確認ください。

## 対象製品について

1	監視対象製品と監視対象範囲をご確認ください。																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>監視対象製品名</th> <th>OS</th> <th>死活監視</th> <th>ハードウェア監視</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">Express5800シリーズ</td> <td>Windows Server</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>Red Hat Enterprise</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>VMware ESXi</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>iStorage M,HS,NSシリーズ</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>iStorage T,WBシリーズ</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	監視対象製品名	OS	死活監視	ハードウェア監視	Express5800シリーズ	Windows Server	○	○	Red Hat Enterprise	○	○	VMware ESXi	○	×	iStorage M,HS,NSシリーズ	-	○	○	iStorage T,WBシリーズ	-	○	×
監視対象製品名	OS	死活監視	ハードウェア監視																				
Express5800シリーズ	Windows Server	○	○																				
	Red Hat Enterprise	○	○																				
	VMware ESXi	○	×																				
iStorage M,HS,NSシリーズ	-	○	○																				
iStorage T,WBシリーズ	-	○	×																				
2	本製品のご利用には、監視対象装置の保守パック購入、または保守契約の締結が必須です。対象機器に係るハードウェア保守契約が運用サービス開始までに締結されていることを前提とします。																						
3	SANブート構成のシステムは本サービス対象外です。																						
4	1台の監視専用サーバで監視可能な対象製品は128ノードまでです。基本パック1個に対して紐付け可能な追加パックは127個までとなります。																						
5	ハードウェア監視の導入前にESMPRO/ServerAgentのインストール/設定が完了していることをご確認ください。																						

## 監視専用サーバとネットワーク環境について

1	本サービスのご利用にはインターネット環境が必要です。監視専用サーバがお客様ネットワークのインターネット環境を使用して、検知した障害アラートを送信します。また、監視専用サーバおよび監視対象製品は同一LAN上に設置する必要があります。												
2	お客様のDNSサーバ(53/UDP)、NTPサーバ(123/UDP)を使用します。また必要に応じてお客様のプロキシサーバを使用します。												
3	監視専用サーバが通信に使用するポートと対象アドレスは以下の通りです。お客様LANとインターネットとの間にファイアウォールがある場合、通信許可の設定をお願いいたします。												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>通報先</th> <th>ポート番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>htreptky.red.fielding.co.jp/cgi-bin/htRcvRep</td> <td>443</td> </tr> <tr> <td>htreposk.red.fielding.co.jp/cgi-bin/htRcvRep</td> <td>443</td> </tr> <tr> <td>htrep1.red.fielding.co.jp</td> <td>443</td> </tr> <tr> <td>diag.red.fielding.co.jp</td> <td>443</td> </tr> <tr> <td>download.red.fielding.co.jp</td> <td>443</td> </tr> </tbody> </table>	通報先	ポート番号	htreptky.red.fielding.co.jp/cgi-bin/htRcvRep	443	htreposk.red.fielding.co.jp/cgi-bin/htRcvRep	443	htrep1.red.fielding.co.jp	443	diag.red.fielding.co.jp	443	download.red.fielding.co.jp	443
通報先	ポート番号												
htreptky.red.fielding.co.jp/cgi-bin/htRcvRep	443												
htreposk.red.fielding.co.jp/cgi-bin/htRcvRep	443												
htrep1.red.fielding.co.jp	443												
diag.red.fielding.co.jp	443												
download.red.fielding.co.jp	443												
4	RGWLはLAN二重化環境には対応していません。												
5	RGWLの通信方式は「100M全二重通信」か「100M半二重通信」に設定されます。接続先のルータ等の設定変更が必要になる場合があります。												
6	監視専用サーバに対し、1時間間隔で統合運用サポートセンターのアップデートデータの有無の確認が発生します。アップデートデータが有る場合は自動的にダウンロードを実行し適用されますのでご了承ください。												
7	監視専用サーバは1時間間隔で統合運用サポートセンターとヘルスチェックを実施します。												
8	通報ツールは、監視ツールと連動して、送信機能の正常性を確認するため、統合運用サポートセンターへハートビート用のイベントを一定の間隔で送信します。間隔については契約者の監視対象機器の運用状態を確認した上で当社が指定します。												